



拓く



御幸中学校
3年学年だより
令和6年11月11日(月)
第12号

愛は御幸中を救うのか～We make the best～

11月1日に文化祭が終わりました。運動会が終わってからあまり期間はありませんでしたが、オープニング、合唱コンクール、生徒会企画、ステージ発表……。どの活動も、よく考え、工夫し、準備してきたのだなと感じました。特に合唱コンクールは、どの学年も聞き応えがありました。先輩の姿から後輩が学び、それが御幸中の良き伝統になっていきます。後輩たちは、君たちの姿から学び、これからさらに上をめざして頑張ってくれると思います。



さて、大きな行事は全て終わりました。行事を通して学んだことはたくさんあったと思います。これまで培ってきたことを糧に、今度は自分自身の目標に向けて頑張ってくださいね。

〔3年A組 編〕

僕は、文化祭を通してみんな協力していたなと思いました。各係の人がみんなで案を出したり、みんなで1つのものを作っていたり。自分たちの仕事が終わると、他の係のところの手伝いをして、文化祭までに準備を間に合わせようと協力していました。

合唱は、歌う速さや足を開くときなどの細かい部分も合わせて練習したので、最優秀賞を取れて良かったです。生徒会企画や一芸披露では、みんな盛り上がっていて、校内を回っていると、あの時手伝って作ったものだらけで、協力して良かったなと思えました。とくにジャイアンさんの歌「キセキ」の時は、みんなが一体となって歌っていたので、すごく良かったです。

私はこの文化祭でたくさんの愛を見つけることができました。合唱コンクールでは、3Aのみんなが一つになり、練習の成果を発揮することができました。そして、最優秀賞はもちろん、指揮者賞も、伴奏者賞も3Aだったときは、なぜだか私までうれしかったです。そのときの気持ちが愛なのではないかなと思います。一芸では、たくさん練習してきたダンスを完璧にできて、最高の思い出になりました。難しい振り付けに苦戦したときもあったけど、三人で助け合えたので、乗り越えることができました。ダンスが終わった後に、友達からたくさんほめてもらったところも、愛を感じました。私が1番感動したのは、エンディングのときに流れていた文化祭の準備写真です。楽しい裏側にはたくさんの人の苦勞があるのだと気づくことがで



きました。これは御幸中の生徒全員の協力だと思えます。自分の係でないところへ手伝いに行っている人が多くいたのがすごく協力的だなと思いました。今後も、楽しい裏側には誰かの苦勞があることを忘れずに、感謝しながら生活したいです。そして、残り少ない学校生活をより充実させたいです。

僕が文化祭で頑張ったことは2つあります。1つ目は文化祭の準備と片付けです。なぜなら準備をするのはとても大変で、協力しないとできないからです。一人でやろうとするとすごく疲れます。片付けも一人ではとてもできないので、準備と同じです。2つ目は合唱コンクールです。合唱コンクールでは、一人一人が頑張ってお歌わなければなりません。僕は合唱リーダーでしたが、練習の時に目標を決めることがなかなかできず、難しかったです。



僕が文化祭で楽しんだことは一芸披露や生徒会企画です。一芸披露には同級生が出ていて、ダンスや歌を披露しています。生徒会企画は、プラ板やウォークラリーに参加できました。プラ板は自分で絵を描いて作ることができ、ウォークラリーは3位になることができたので良かったです。

私が今回の文化祭で頑張ったことは2つあります。1つ目は3年生として責任を持った行動をすることです。自分が間違えたり、1、2年生に間違えたことを教えてしまわないように、自分から先生に相談しに行ったり、他の係の人に確認しに行ったりできました。ステマネはタイミングを間違えると大変なことになるので、最初から最後まで気を抜かずに仕事をすることができました。

2つ目はステマネのリーダーとして、みんなを引っばったことです。1、2年生の時の経験を活かして、先生や1、2年生に教えることができました。委員長や生徒会より大きくない役だったけど、自分なりに初めてリーダーとして皆と協力できて楽しかったです。最後の文化祭をみんなで協力し、助け合って、楽しくできて本当に良かったです。



私は文化祭を通して、たくさんの場面で“愛”を感じ取ることができた。1つ目は生徒会企画の水引でのことです。私が友達と作っているときに、一人の下級生が私の作ったものを、きれいで上手だと言ってくれた。そのときは、たくさんの人が男女、学年関係なく楽しそうに教え合っていて、たくさんの愛で満ちあふれていた。私は褒められたとき、とてもいい気分になりとても大きな愛を感じることができた。

2つ目は一芸披露の時だ。ステージ発表もちろん素晴らしかったのだが、私はどちらかというと観客席のほうに目を向けていた。理由は、今回のステージは3年生しか出ていなかったにもかかわらず、1、2年生もしっかり盛り上がってくれていたからだ。私は3年生しか盛り上がらないのではないかと考えていたのだが、中にはペンライトを振っている子もいた。私はそれらを見て嬉しかったと同時に、学校全体からの愛を感じた。中学最後の学校行事は自分にとってとてもいい思い出になった。これで心置きなく受験に臨むことができるの、勉強を頑張りたい。

